

【単元のポイント】

変わり方

4年生 算数 第15単元

学習指導要領（平成29年告示）の目標

【C 変化と関係】C(1) 伴って変わる二つの数量

伴って変わる二つの数量について、表を用いて変化の特徴をとらえ、関係を表す式を用いて、ある数量から他の数量を求めたり、変化と対応の特徴を調べたりすること。

◆ 評価の3観点における目標

【知識・技能】

- 2つの数量の関係を表に表せる
- ○と□を使った式で関係を表せる
- 表からきまりを見つけられる

【思考・判断・表現】

- 変化のきまりを見つけ説明できる
- 関係を式に表しその意味を説明できる
- 表・式・グラフを関連づけて考えられる

【主体的に学習に取り組む態度】

- きまりを見つけようとしている
- 日常の中の変わり方に関心をもっている

◆ 指導上の留意点

1. 表を使った変わり方の理解

- ○が1ずつ増えると□はどう変わるか
- たての数量・よこの数量の関係
- 「和が一定」「差が一定」「積が一定」のパターン

2. ○と□を使った式

- $\bigcirc + \square = 10$ (和が一定)
- $\bigcirc \times 3 = \square$ (3倍の関係)
- $\bigcirc - 2 = \square$ (差が2)

3. つまづきやすいポイント

- 表のきまりが見つけれない
- ○と□を使った式に表せない
- 式から値を求められない

◆ プリント作成時の配慮事項

1. 表の読み取り：表からきまりを見つける問題
2. 式づくり：○と□を使った式で表す
3. 数値予測：きまりを使って続きを予測
4. 実生活例：年齢の差、ひもの長さなど
5. 逆算：□の値からを求める